

I 開催日時 平成29年2月13日（月）14:00～15:45

II 内容

1 学校概要説明

2 協議・助言

○学校評価について

〈C氏〉学校評価アンケートの質問項目に「わからない」を新たに設けた理由について

- ・「わからない」という回答から、読み取れることがあると思ひ、設けた。結果から、情報を十分に伝えていない現状が分かった。努力していきたい。

〈B氏〉学部間連携について、小中高が一つの学校にあるので工夫できることがあるのではないか。

- ・全校朝会に高等部生徒が小学部児童を迎えに行くことに取り組み、回を重ねて手をつないだり会話をしたりする様子もみられてきた。他にも考えていきたい。

〈B氏〉職員アンケートから、職員が言いたいことを言える学校であると感じた。改善していこうという姿勢を感じる。

○ヒヤリハット・アクシデントについて

〈B氏〉同じ児童の報告が多くあるのは、どうしてか。

〈D氏〉対応策はとられているか。

- ・手立てを工夫しながら活動しているが、感情のコントロールが難しく、突発的に環境が整わない場面で気持ちが落ち着かないことが多い。
- ・家庭、医療機関及び学校で情報を共有し、改善の方向に進んでいる。社会参加ができるよう指導していきたい。

○タブレット端末について

〈A氏〉活用場面と効果について

- ・進路学習、日常生活の指導及び余暇活動の場面で使用している。高等部では、修学旅行の事前学習で活用した。アプリを使用して、個に応じた学習で効果を得ている。

○訓練等実施状況について

〈A氏〉学校の不審者対策について、防犯カメラや人感センサー等を設置しているか。

- ・寄宿舎玄関、男子棟及び女子等非常口到人感センサーライトを設置した。また、寄宿舎に不審者が来た想定訓練を行った。来年度から学校と隔年で実施する。

〈A氏〉大規模災害が起きた場合、学園を福祉的避難所として使用してもらおう想定をしている。白梅の園さんや学校さんと協力して役割を果たしていきたい。

- ・学校も協力して役割を果たす。

○感想

〈B氏〉細やかな指導、ホームページに感心する。幼稚園や保育園への支援を引き続きお願いしたい。